入善町報

発行所 入善町役場
編集発行責任者 竹内栄治
印刷所 池原印刷所
定価 1部 5円

祝 皇太子殿下 御成婚

昭和34年4月10日

御成婚式の日や祝祭日には国旗を揚げましょう。

建設事業着々完成

本年度の建設事業は予定通り進み、三月末でほぼ完成を見た。

本町は、財政再建の途上にあり、財政再建計画にしばられていて、新規事業には手が伸びない実情にあるとはいえ、西入善駅新設の問題、母子健康センターの建設、町営住宅十戸の建設のほか、布合川用水・春日用水・上原用水の改修事業や、都市計画道路の上町君島線・上田上飯野線の道路新設など、数え上げれば相当以上の事業をしている。

三用水の改修成る

布合川用水の改修

昨年末から着工していた布合川用水の改修工事は、三月中旬に竣工した。

この工事は、特殊積寒事業（積雪寒冷単作地帯特別措置法による事業）として青木土地改良区が主体となって行ったもの。道古から東狐にかけ延長二、二八二mで、総工事費は一、二六〇万円である。

春日用水の改修

冬の農閑期の人手を利用して行った春日用水の改修工事は、暖冬のおかげで予想外に早く進み、三月早々工事の完成を見た。

この工事も特殊積寒事業として們山土地改良区が主体となって行ったもの。

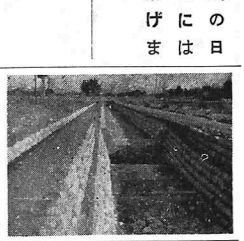
事業費は、五三五m（們山部落から荒又部落におよぶ）、工費一五〇万円を要した。

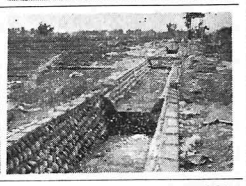
上原用水改修終る

大雨毎に吉原部落をおびやかしていた上原用水の下流（しぶとの川）の改修をなし、一直線に海に注ぐことになったので、溢水、浸水の騒ぎが今後おこらなくなるだろう。

この工事は、積寒事業として同地区土地改良区が主体となって行ったもの。海岸から上流六八一・七mの間、川幅も深さも大きく改修したもので、総工費四六〇万円を要し、三月中旬に竣工した。

（写真説明）
上　布合川用水
右下　春日用水
左下　上原用水





山の手コースを花時にたどるとき、はからずも行きあえる島部落の諏訪社の桜、下山の八幡社の参道の桜の花見客に荒されていない、いわば、処女桜のおもむきは本当に花を愛する人の求めるところであろう。（写真は島部落の諏訪社の桜）

固定資産税の免税点引上げ

国の減税政策により、昭和三十四年度（四月一日）から地方税の固定資産税の免税点が引上げられます。

土地	（旧一万円）は二万円に引上げ
家屋	（旧一万円）は三万円に
償却資産	（旧十万円）は十五万円に

免税点の引上げにより、本町では土地に対する該当者は四八五件、家屋では三〇七件、償却資産では九九件が免税されることになります。この評価総額は二千六百万円余りで、税金として三十六万四千円ほどの減税となります。

四月十日（午後六時）
皇太子御成婚記念祝賀
観桜會
会費 二百円
余興 チンドンコンクールなど
主催 入善商工会

入善町風土記

…56回…

野中の今江と加賀の今江〔3〕

竹内慎一郎

今江という地名の由来について郷村名義抄という古書に「この村は昔南新保村王院村、あと村、東新保村、稗蒔村、おとし村の六ケ村が一ケ所に集まって、木場潟から江（大川）を掘ったので今江という村名になったと申し伝えている」と書いている。

地図でみてもわかるように、加賀の今江は木場潟と今江潟の間にはさまれた町で、両潟をつなぐ前川という堀割の両側に集まって集落をつくっている。町の周囲は桑畑で囲まれ、今江潟寄りの砂丘地帯は松林で、田地は木場潟沿いに連なり地味肥えて農作物が豊かである。茶、西瓜、いなご雑魚飴煮、今江縞（綿織物）などの特産物がある。

今江、木場の両潟には鯉ふな、うなぎ、なまず、えび、しじみ等がとれ、多と春には鳥類が捕れる。潟のまわりには、よし、かや、まこも等が出来ると室暦の調書（一九五前）に書いている。

明治二十二年に今江村は他の二ヶ村と合併して串村となり、明治四十年に串村は他の二ヶ村と合併して御幸（みゆき）村となり、昭和になってから御幸村が小松市に吸収合併され、元今江村は小松市今江となった。

今江町の西南角、小学校裏側に接して標高二十二米の岡がある。この岡の上に御幸塚（みゆきづか）という塚がある。寛和二年（九七三年前）花山法王が北国巡幸の際ここに庵室を結んだ所といい伝えている。南北朝時代から室町時代にかけて赤松氏、富樫氏が相次いでここに居館を構え、御幸城と称した。その頃から戦国末期までこの城をめぐ春には鳥類が捕れる。潟のまわりには、よし、かや、まこも等が出来ると室暦の調書（一九五前）に書いている。

明治二十二年に今江村は他の二ヶ村と合併して串村となり、明治四十年に串村は他の二ヶ村と合併して御幸（みゆき）村となり、昭和になってから御幸村が小松市に吸収合併され、元今江村は小松市今江となった。

今江町の西南角、小学校裏側に接して標高二十二米の岡がある。この岡の上に御幸塚（みゆきづか）という塚がある。寛和二年（九七三年前）花山法王が北国巡幸の際ここに庵室を結んだ所といい伝えている。南北朝時代から室町時代にかけて赤松氏、富樫氏が相次いでここに居館を構え、御幸城と称した。その頃から戦国末期までこの城をめぐって屢々戦争が繰返された。

○文安四年（五一二年前）御幸城主富樫小三郎泰高が本家の石川郡高尾城主富樫政親と所領を争い戦った。

○文明三年（四八八年前）蓮如上人が御幸城に身をよせ、泰高の助力を得て吉崎の道場を建立したという。泰高は後に一向一揆と結んで政親を亡ぼした。

○永禄五年（三九七年前）秋、加賀の郷民一揆を起こし、之を討たんとする越前の朝倉左ェ門義景の軍三千八百余騎の内、青蓮華景基の一隊が御幸城に陣を構えた。九月二十日夕刻一揆の先駆の大将金剛寺三郎右ェ門の率いる二千余人の郷民城増築の際、家老が工事中暫くの間御幸城に移るよう御幸城を襲撃した。城の外には堀や柵をめぐらして固守しているので、攻めあぐんでいる所を、城内より真柄十郎左ェ門真隆という当時日本無双の大力とうたわれた豪の者が太郎太刀という七尺八寸の大刀を、又、次郎太刀という六尺五寸の大刀をふりかざし、之に続いて随伝功という大力が六角筋金入り一丈二尺の樫棒を軽々とふりまわして一揆勢の中におどりこみ、縦横無尽に切ってまわり、暫時の間に八十余人を薙ぎ伏せた。続いて五百余騎が城戸を開いてやりをそろえて打って出たので、一揆は七百五十余の死者を残して逃げ散ったという。

○天正三年（三八四年前）信長は御幸城等の一揆の城を攻め、之を降し、御幸城に徳山少左ェ門をおいた。

○慶長五年（三五九年前）八月一日前田利長（二代藩主）が金沢に帰陣しようとしてここに至ったとき、小松城の丹羽長重が足軽を出して木場潟に船を浮べ、百十挺の鉄砲で打ちかかった。利長は二百挺の鉄砲隊を出して水辺で応戦したという。

○三代藩主前田利常が金沢城増築の際、家老が工事中暫くの間御幸城に移るよう御幸城を襲撃した。城の外には堀や柵をめぐらして固守しているので、攻めあぐんでいる所を、城内より真柄十郎左ェ門真隆という当時日本無双の大力とうたわれた豪の者が太郎太刀という七尺八寸の大刀を、又、次郎太刀という六尺五寸の大刀をふりかざし、之に続いて随伝功という大力が六角筋金入り一丈二尺の樫棒を軽々とふりまわして一揆勢の中におどりこみ、縦横無尽に切ってまわり、暫時の間に八十余人を薙ぎ伏せた。続いて五百余騎が城戸を開いてやりをそろえて打って出たので、一揆は七百五十余の死者を残して逃げ散ったという。

○寛永二十年（三一六年前）の秋、主家宮部称三右ェ門の妻女を刺し殺した十四才の少女を砂丘の松林で竹鋸でひいて、はりつけにした事があったという。

この事件から十三年後に二十組の夫婦が越中の今江へ移民したのであった。

一日（水）入学式 緑の週間 緑の羽根募金
七日（火）世界保健デー
八日（水）釈迦誕生日 県議選挙告示
十日（金）皇太子殿下御成婚式 メートル法記念日 ます祭り
十一日（土）入善神社春祭り 富山県護国神社春季大祭
十五日（火）発明の日
十六日（土）郵政記念日 郵便週間
十七日（月）
十三日（水）靖国神社春祭り
十五日（水）天皇誕生日
十六日（木）固定資産税納期

子どもしぶ

生ける時、善をなさずんば、死する日獄の薪とならん。得難くして移り易きはそれ人身なり。発し難くして忘れ易きは、これ菩心なり。

（伝教大師）

わたる世間に鬼はない。世間を見たら鬼と思え。どちらもほんとうだ。その中にかわらぬマコトをシッカと見つめてゆきましょう。それが宗教だ。お念仏だ。世の中に、鬼がいようといまいと――。

最澄

釈善修

町政

34年度町予算

総額一億三千八百余万円

町議会定例会は三月十二日に招集新年度町予算案をはじめ三十七議案につき審議の上、同十九日原案どおり議決し、閉会した。

この議会の開会に前後し九日全員協議会、十四日教育委員会、十六日に厚生委員会、十七日建設委員会、十八日総務委員会を開いて、関係予算案の内容を慎重に検討し、十二日、十三日、十九日に本会議を開設して審議がなされたのである。

町財政は、財政再建計画にしばられている上、町村合併に伴う行政規模拡大のためなどで、新規事業には手が伸びないとはいえ、上町君島線の舗装工事費（二七五万円）、飯野中学校校舎二教室増築費（二五〇万円）、小型動力ポンプ購入費（八一万円）などを計上している。また、新たに設けられた母子健康センターの運営費一五五万九千円が新たに加わっている。

なお、新年度の町債の元利償還金は、二四、〇二一〇〇〇円である。

議案の主なもの

▽昭和三十四年度町予算
▽全国民健康保険予算
▽全上診療施設予算
▽財政再建計画中一部変更
▽町国保条例の改正
▽町母子健康センター設置条例の制定
▽貨物自動車（二二〇万円）購入の件（33年度追加）
▼道路占用料条例の制定（委員会付託継続審議）

西町住宅近く落成

公営住宅「西町住宅」十戸が西町のはずれ、持専寺前（上野地内）に建てられ近く落成します。

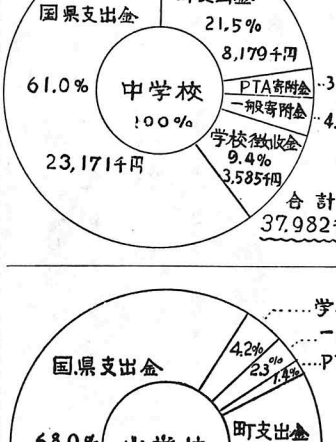
建物の構造は、木造、東西型（第二種）、六畳、四畳半、台所、便所、物置、押入れ計二八・一m²の広さのものです。

この建設事業には、建築費の2/3の国庫補助金があり、町予算は、二七七万円です。

この工事は、株式会社小坂組が請負い、十二月から着工して工事を進めていますが、四月上旬に落成の見込みです。

入居者の資格

①入善町内に住所又は勤務場所を有する者
②毎月公営住宅法施行令第五条の収入があって、独立の生計を営み、この条例に基いて定める家賃及び敷金を支払う能力を有する者。（基準収入　毎月の収入の合計から扶養家族一人につき千円を控除した額が一万六千円以下であること）
③現に同居し、又は同居しようとする親族があること。
④現に住居に困窮していることが明らかな者。



義務教育費やく一億円

図表をごらん下さい。

昭和三十二年度では本町の義務教育を行うために小学校約五千七百万円、中学校約三千八百万円、合せて九千五百万円ほどの金が使われています。

もし、この全部の経費を町で支払うとしたら、約一億円のお金がいるわけです。

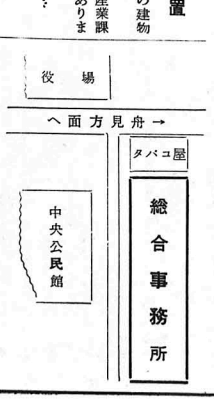
が、経費のうち一番大きい職員給料は、国と県とが半々に出しあってくれますし父兄の負担等もあるわけです。図表のうちの学校徴収金というのは、学校給食の燃料費の父兄負担や修学旅行の費用などのことです。ただし、給食のパン代などは含まれていません。

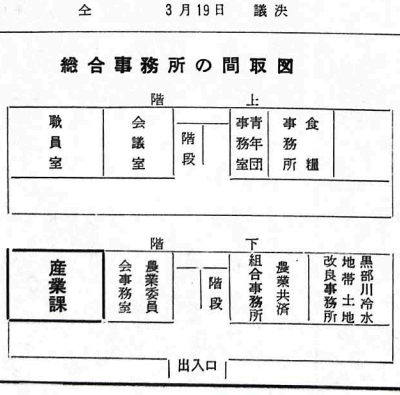
総合事務所と産業課の位置

中央公民館の南側の建物は、総合事務所です。

下の図のように、産業課は、総合事務所内にあります。

総合事務所の間取図





緑の週間

緑の羽根を買いましょう

七月まで緑の週間です。この時期に行われる「緑の羽根の募金」にご協力願います。

緑の山から平和の光
育つ苗木に伸びゆく文化

戦争で荒れはてた日本の国土を、緑の国として木材資源を育て、治水の源に培い、温和な心情を養うなど国土の将来のために図ることは大切なことです。

佐伯さんの話

「……南極は白一色だから服装や標識は、赤系統の目立つ色だけが用いられた。

さて、南極にも夏が来て、厚い氷が解け、地はだが現れた。ところが赤茶けた岩だけでむろん草一本生えていない。人の服装の赤、大地の赤見るものすべてが赤、赤で一点の緑もなく、気が狂いそうであった。

このとき、たれかが持って来た菜の種を、わずかにぱらぱらした小石や砂のある所を見つけてまいてみた。幾日かたって芽ばえた。隊員たちは歓呼の声をあげた。

この、不毛の南極の地にも生え育つ生命の神秘と、ささやかな緑の色は、如何に隊員を力づけ、慰めてくれたことであろう。

私たちは、緑の中に育って来て、緑の尊さを知らなかった。しかし緑の無い世界に来てはじめてそれを知り、緑と生活とのつながりの深さを悟った。」

昔さん、山や空地に木を植えましょう。

「みどり」が如何に人生に大切であるかということを南極越冬隊員の一である佐伯富雄さんが、三月四日来町の際その体験を次のように話されました。

昭和34年 入善町歳入歳出予算

歳入　△印は減（単位千円）

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較
町税	100,030	87,670	12,360
地方交付税	12,000	12,600	△ 600
公営企業・財産収入	240	213	27
分担金負担金	3,050	2,546	504
使用料手数料	3,485	1,692	1,793
国庫支出金	12,659	15,836	△ 3,177
県支出金	3,607	3,447	160
寄付金	400	1	399
繰越金	1	1	—
雑収入	1,010	649	361
町債	2,000	2,000	—
歳入合計	138,482	126,655	11,827

歳出　△印は減（単位千円）

款	項	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
1 議会費	議会費	2,287.1	1,613.8	673.3
	町議会費	1,681.1	1,248.8	432.3
	委員会費	606.0	365.0	241.0
2 役場費	役場費	29,495.3	26,083.8	3,411.5
	役場職員給費	25,357.4	22,535.9	2,821.5
	監査委員費	60.0	60.0	—
	公平委員会費	30.0	30.0	—
	諸費	4,047.9	3,457.9	590.0
3 消防費	消防費	6,750.3	5,267.2	1,483.1
	防災費	1,867.8	1,688.6	179.2
	消防団費	4,732.5	3,478.6	1,253.9
	消防施設費	150.0	100.0	50.0
4 土木費	道路橋梁費	10,266.0	8,818.0	1,448.0
	河川費	5,506.0	4,300.0	1,206.0
	都市計画費	300.0	298.0	2.0
	災害復旧費	4,000.0	4,000.0	—
	土木費	460.0	220.0	240.0
5 教育費	教育委員会費	21,936.3	18,127.9	3,808.4
	学校教育費	2,785.2	1,817.9	967.3
	小学校費	9,126.8	7,201.0	1,925.8
	中学校費	7,995.3	7,461.0	534.3
	社会教育費	366.0	295.0	71.0
	公民館費	1,263.0	1,003.0	260.0
	図書館費	400.0	350.0	50.0
6 社会福祉費	児童福祉施設費	16,708.1	19,079.5	△ 2,371.4
	災害救助費	9,033.1	7,728.5	1,304.6
	社会福祉協議会費	62.5	52.5	10.0
	社会福祉事業費	673.5	629.0	44.5
	労働福祉費	6,939.0	4,882.5	2,056.5
	(住宅建設費)	— 0	5,787.0	△ 5,787.0
7 保健衛生費	伝染病予防費	3,680.1	1,894.3	1,785.8
	結核予防費	511.5	471.0	40.5
	母子健康センター運営費	650.0	599.0	51.0
	清掃費	1,559.0	47.3	1,511.7
	火葬場費	180.6	132.5	48.1
	害虫駆除費	600.0	484.5	115.5
	飲料水改善指導費	158.0	150.0	8.0
	生活保護費	21.0	10.0	11.0
8 産業費	農業委員会費	14,535.0	13,579.2	955.8
	農業共済事業費	2,485.9	2,487.2	1.3
	農業耕地事業費	3,944.1	3,470.0	474.1
	農業用地交換分合事業費	5,995.0	5,690.0	305.0
	畜産業費	15.0	100.0	△ 85.0
	林業費	350.0	292.0	58.0
	水産業費	50.0	—	50.0
	商工業費	600.0	550.0	50.0
	観光産業費	1,095.0	990.0	105.0
9 財政費	統計調査費	2,016.1	2,835.0	△ 818.9
10 選挙費	選挙費	297.1	340.0	△ 42.9
11 公債費	元利償還金	531.6	365.3	166.3
	元利償還金	24,321.0	23,484.0	837.0
	元利償還金	24,021.0	23,384.0	637.0
	利子	300.0	100.0	200.0
13 諸支出金	公金取扱費	5,458.0	5,027.0	431.0
	徴税費	550.0	500.0	50.0
	地方振興費	1,020.0	984.0	36.0
	町建設計画調査費	1,215.0	900.0	315.0
	新諸費	200.0	—	200.0
	(繰出金)	2,473.0	2,143.0	330.0
14 予備費	予備費	— 0	500.0	△ 500.0
		200.0	140.0	60.0
歳出合計		138,482.0	126,655.0	11,827.0

歳入歳出差引残金なし

昭和34年3月12日　提出
企　3月19日　議決

母子センター落成

県下にただ一カ所の新施設〝入善町母子健康センター〟の新設工事は、請負者柴垣組の手で昨年十一月から工事が進められていましたが、着工以来好天に恵まれて意外にはかどり、三月半ばに竣工、同三十日に落成式が行われました。

この母子健康センターは厚生省が、母子衛生の向上をはかる見地から公立病院など医療施設に恵まれない市町村に建設することになったもので、その建設費は厚生省が1/2県と町とがそれぞれ1/4負担することになっています。

建物は、感じのよい平屋造りで、産婦室三、分べん(娩)室、乳児保健指導室姙婦保健相談室など十三室設けてあります。

入善地区婦人会では寝具など寄附して下さったので身軽に入院できるわけです。どしどしご利用ください。

◇入院料など

1. 分娩料及び入院料　五千円
2. 入院七日を超えるものについては一日につき三百円

但し、生活保護法による被扶助者及び生活困窮者に対しては、使用料の一部又は全部を免除することができる。

(母子健康センター)

国民健康保険 受診証の更新

本年一月一日に新しい国民健康保険法が施行されました。これより四月一日からの主な改正点は次のとおりです。

▼生活保護世帯や勤め先の健康保険に加入している者以外は、全部国民健康保険に強制的に加入しなければならなくなりました。

▼三月まで、使っておられた受診証(うす紫色、舟見地区はうす緑色)は無効となり、新しい受診証(白色)が交付されます。

▼国民健康保険で診療できないもの(給付外療養)は、次の三点です。

(イ)給食(基準給食を含む)
(ロ)寝具設備
(ハ)歯科補綴(但し、総入れ歯は給付される)

▼舟見地区では、診療の際医者の窓口で、一部負担金(五割)を支払っていましたが、今後は、全地域ともに、あとで役場からハイフが来ますから、入善町金庫(各農協等)へ行って納めて下さい。

▼野中地区も四月一日から国民健康保険が開始されます。

▼被保険者の資格に異動があった時に届出しなかったり、または、受診証を不正に使用したり、あるいは、虚偽の申告をした時は、懲役または、科料に付せられることがあります。

交通事故の社会保障

交通事故の社会保障といわれる〝自動車損害賠償保障法〟が全面施行になったのは昭和三十一年二月で、それから満三年になる。

この法律は、自動車の保有者に責任保険への加入を義務づけると共に、保険で救済されないひき逃げや無保険事故の被害者を、政府が直接救済しようとする画期的な保障制度を定めたものである。

1. 満三年たっても保険加入状況が香ばしくないという問題がある。特に悪いのは二輪の自動車で、七割の加入率、総平均で八割程度の加入である。自動車は保険をつけなければ走れない原則で、無保険を発見されるとすぐ罰せられるばかりでなく、もし、事故を起すと多額の負担を負い込むことになる。というのは、被害者は政府に請求でき、政府が損害てん補をするとその金額に利子と過怠金を加えて、加害者に求償することになるからである。
2. 保険金は平均して死亡の場合二十四万六千円、重傷約六万円、軽傷約一万円である。
3. 事故に遭った場合は、大したケガではないと思った場合でも直ちに警察へ届け出ておくことが必要で、後になって破傷風などで死に至ることがあっても警察が事故の證明をしてくれないと、保険金がもらえないことがある。
4. ひき逃げされた被害者は、政府の保障事業へ請求できる。大体年間千三百件の請求があり、ひき逃げの場合も損害保険会社が窓口事務を扱っている。

また、官公署の車、自家保険を許可されたバス会社等の車にひかれた場合は、それぞれの官公署や会社が賠償することになる。これらによって、自動車事故の被害者が泣き寝入りすることは絶無となった。

—運輸省の報道から—

県議会議員選挙を公明に行いましょう

選管

▼新有權者は申請を……

四月二十三日(木)には県議会議員選挙が執行されます。この選挙には、昨年九月十五日現在調製の基本選挙人名簿(舟見、野中地区は本年一月二十日現在調製の補充選挙人名簿を含む)にのっている有權者のほか新に選挙權を持つようになった方が、投票するわけです。そこで、新規有權者は、町選挙管理委員会へ、「選挙人名簿登録申請書」を提出して下さい。そうしないと投票ができません。

▼登録申請を要する人

①選挙人名簿に登録漏れとなっている人。
②本年一月十日までに他の市町村から転入したため本町の選挙人名簿にのっていない人。
③新たに成年に達したため出生した人)

▼選挙期日告示　四月八日
▼立候補届出期限　四月十六日
▼選挙期日　四月二十三日
▼不在者投票受付　四月八日から四月二十二日まで

選挙權のできた人(昭和十四年四月十一日までに出生した人)

▼申請期間　四月十一日から四月十三日まで

この期間中は、現行の名簿を縦覧に供します。

選挙を前に 今一度の反省を

◇戸別訪問

選挙運動をする人たちのためにいわゆる「虎の巻」というのが発行されています。その中に

「用事があったり、遊びに行った家でまたは、道であった人に『一票入れて下さい』と頼むことは、選挙違犯でない。」と書いてありますが、実際はどうでしょうか。

これを自分の都合のよいように考えたり、選挙参謀という人に教えられて、無理に用事を作って家々をたずねて投票を頼んだり、道を歩きながら家々の人を玄関や外に呼び出して投票を頼むことをしていないでしょうか。

これは、はっきりした戸別訪問になります。ですから、厳重な取締りをうけます。

◇饗応や買収

無料の映画・無料の鉱泉や浴場への招待・無料の酒わけのわからない贈物により「○○さんが当選すれば良いことがある」と、何かしらの暗示等をすることはみな悪質な選挙違犯になります。こうした話をかけられたとき、正しい理由があるかないかを見きわめて判断して下さい。

◇公明選挙

公明選挙が叫ばれています。それだけに、良心に従って、選挙を行いたいものです。

○今までのしきたりにこだわらず
○義理や人情にとらわれず
○金や物や利害に迷わず

明るく正しい運動と選挙を実現したいものです。

信号所として発足した西入善駅
(完成間近にうつした)

新農村青年研修会

三月二日から同四日まで二泊三日間中央公民館で「新農村青年研修会」が開かれた。

受講員は、二十五才から三十五才までの男女で、新農村建設に積極的意欲を持つ中堅青年のみにしぼられ男三〇名女二六名が参加して熱心な研修を行なった。

講師には農林省荻官小野小三郎、全木根潤宗光、県教育委員雪山俊之、県畜産課長小西敏平の諸氏のほか数氏が当り、耀作、園芸、畜産等農業の重要問題につき研修した。

西入善駅近く完成

待望の西入善駅新設の工事は完成し、すでに信号所として運営されている。

昨年十二月下旬から線路の工事に着手し、一月三十日から駅舎の建設を急いでいたが、三月三十一日十六時完成、と同時に信号所と北陸線の運輸にプラスしている。

旅客の取扱いが開始されるのは、信号所が開始された後認可を得て旅客駅に昇格するわけで、それまで多少の時日を要するが、ほど遠くないものと思われる。

(新農村青年研修会の光景)

中央公民館にテレビを備えました

中央公民館のテレビは、一般公開をしています。

公開時間

十二時—午后一時、晩六時から七時まで各一時間

土曜日は午后から晩九時まで

植物にも防疫

四年続きの大豊作。このよろこばしい成果がもたらされたかげには、いろいろな要素があるでしょうが、その一つとしてわが国の植物防疫事業の急速な発展を見逃すこともできません。各種の作物に病害虫がついては、豊作も望めないわけですが、諸外国から輸入されている植物を検査して植物とともにわが国に侵入する病害虫を阻止している人に植物防疫官がおります。植物防疫官のおもな仕事は、港や、空港において、外国から入ってくる植物類を、国内に入れる前に検査をし、それに病害虫がついていないかどうかをたしかめます。ですから、検疫や税関の手続などと同じように、植物については、防疫官の手を通らないと、入国できないということになるのです。

一方、輸入される植物ばかりでなく、彼らは、諸外国に輸出する農産物を畑や港で検査して病害虫がいないむねの植物検疫証明書を発行して、輸出を円滑にすること、また植ばれいしょを産地の畑にあるうちに検査して、植半を買う農家のために無病良質なことを証明することなど、国内だけの仕事もあります。

戦後、わが国が占領されていた頃は、進駐軍の軍需物資に対しては、植物検疫を行うことができなかったため、アメリカシロヒトリ・ジャガイモ蛾・じゃがいも輪腐病等があいついでわが国に侵入し、現在はその撲滅に懸命な努力がなされています。

最近における交通機関の発達、とくに航空機や船舶のスピードアップは病害虫の移動を容易にし、侵入の機会を多くさせているわけで、ここにますます植物防疫官の活躍の必要性が生れてくるのです。こうして国内の植物を諸外国からの病害虫から守ることは、われわれ人体への病菌を防ぐのと同様大切なことで、一日もおろそかにできないわけです。

(写真公報二三号より)

おすすめしたい ハイキングコース（その三）

学校の遠足地嶺山――旧黒部河床の棚山高原は、黒東随一の行楽地として、あまりにもよく知られています。しかし、棚山のふもとと、舟見の町のうしろ木陣の山（下椚木椚谷）との間にある「谷江のつつみ」へは、土地の人のほかあまり行かないでしょう。

じゆんさい と 桜の「谷江の堤」

お料理に使う「じゆんさい」（蓴菜）をごぞんじでしょう。あれは、水の底に根をつけて生えているものです。この地方にはあまり見かけませんが、谷江の堤に生えているので珍しがられています。

谷江の堤には、このほか「ひつじぐさ」―水底から一メートル以上もある細長い柄の葉を吊すーも生えています。

谷江の堤は、三方が山で囲まれた窪地を、南側の低地に堤防を築いて作った広さ、十五アールほどの池ですから水が清く深く澄んでいる風景は、ゆうすいそのものです。以前、舟見町では、鯉を放流して、鯉釣をさせていたこともあります。堤防上には桜が数十本植えてあり、春の花見、秋の紅葉時に、この心しずまる谷江の堤を探勝なさることをお勧めします。

休んだ場所に紙くず、くだものの皮など散らさないよう心がけましょう。

谷江・棚山コース

入善―野中―愛場―羽黒―花房の堤―谷江の堤―棚山―舟見

入善駅を出発して谷江・棚山コースを一巡するとなると、二十キロ以上にもなるでしょうから、野中廻り舟見行バスを利用し、愛場停留所で下車するとしましょう。

愛場の十字路を東に折れて羽黒に至り国道を踏切って花房道を行くこと四〇〇メートルほどで本陣の山じりの谷道にかかります。

花房の堤と谷江の堤

ほどなく花房の堤が道の左手にあります。ここから五〇〇メートルほどつま先登りにたどると、目的の谷江の堤に出ます。

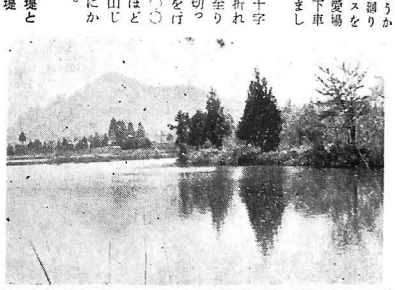
ここで帰ろうとなさる方は、堤の南を下ります。五〇〇メートルほどで舟川べりに出て、舟見鉱泉が五〇〇メートルほど先にすぐ見えて来ます。

棚山の堤と亜炭

谷江の堤の東側に棚山へ登る細道があります。一いき登ると、棚山高原の南端に出ます。

棚山の堤は、説明するまでもありますまい。昔は、六十センチほどもある大鯉が泳いでいたものですが、いまはどうか。

棚山の民家のあるところ登りにたどると、目的の谷江の堤に出ます。



棚山の民家のあるところを離れた東南側に亜炭の層が露出しています。戦時中石炭の不足していたころ、これが盛んに掘り出されたものです。

棚山からの帰りを舟見に向ける方は、堤の南へ下ります。

もし、花房道を下るならば、その中腹に古代の石器などの出る場所もありますので、風景を探るばかりでなく、地層や、動植物や、古代民族のあとを調べることもまた、行楽を一層楽しいものにする道でしょう。

十三寺の千手観音

昨年六月、県の重要美術品の指定を受けた舟見上町の十三寺の千手観音は、行基菩薩（千二百年余り前）の作だ、と伝えられるものです。折があったら拝観したいものです。（**寫真の上は谷江下は棚山**）

※小川太助さんに紺綬褒章の光栄

本町入舘出身の東京都大田区田園調布小川太助さん（57）は、昨年三月入善高等学校体育館の新築に当り地元負担金の一部として金十万円を町に寄附なさったかどで、このたび紺綬褒章（飾版）受賞の光栄を得られた。

なお、小川さんは昭和三十年に第一回の褒章を受けておられる。

※海道さん紺綬褒章を受けられる

本町新屋出身の海道清太さん（55）―静岡市上沓谷町土建業―は、新屋小学校備品購入費として金十万円を寄附なさったことにより、紺綬褒章が、内閣から県を通して伝達された。

教育 漢字 〝ないない字〟

本年二月号の広報研究誌に岩手県藤沢町皆川泰さんの投書「教育漢字〝ないない字〟」が載っている。寳とやすいので、拝借して載せる。

〝ないない字〟

君があって　僕がない。
妻はあれども　妾がない。
惑があって　鈴がない。
裸になるにも　褌がない。
腰巻あれど　紐がない。
頭があれど　尻がない。

T一の電気が流れているとき、六〇ワットの電球を4球つけるとします。そのときの電流は

$$\frac{T}{6}\div 60\times 4=0.4$$

となります。

ふつうの家についている ヒューズは、一〇アンペア用といって、今の場合でいうと、電氣が10まで流れても切れないようになっています。しかし、アイロンをもう一つつけると、アイロンには三・五ぐらい流れるのでヒューズが切れます。

ヒューズは以上のように定量以上の電気が流れると焼け切れて、電気を流さないようにする役目をしています。もし、ヒューズが切れたからといって、太い銅線などでつなぐと、定量以上の電気が流れても切れなくなり、そのため、電線が焼けて、火事をおこすこともあります。

学科 家庭

ヒューズはどんなとき切れるか？

電線を通っている電気は途中でたまることができないので、たえず流れています。

いま、電球の中を流れている電気を一とすると、電熱器には6ほど流れ、合せ

入善図書館新着図書

書名	著者名
十代の読書	熊谷　孝
私の読書と人生	清水幾太郎
河上肇随想録	天野敬太郎
ふるさとの味	森田たま
ささやかな幸福	石川欣一
平和の探求	亀井勝一郎
現代アメリカの思想	都留重人
現代の思想	阿部行蔵
考えることのよろこび	巴里ひとりある記 高峰秀子
郷土史物語	地方史研究協議会
お貰さん放浪記	犬養道子
日本バ十余州伝説絵物語	誘惑者
北日本新聞社	運河
日本の社会福祉	チヤンスは三度
全国社会福祉協議会	柴田錬三郎
主婦	大村重子
社会主義対資本主義	陸井三郎
図集農家のすまい	農山建築研究会
図集農家の台所	竹内芳太郎
図集農村の家庭工作	〃
蔬菜	今津　正
原色図解作物の要素欠乏	三井進午
芸術家のことば	都山三郎
現代芸術入門	現代芸術研究所
社会と芸術	〃
芸術の教養	福田恒存
にあんちゃん	安本末子
織田信長第六巻	山岡荘八
現代長編小説全集	吉川英治集
石坂洋次郎集	井上靖集
三島由紀夫集	源氏鶏太集
丹羽文雄集	舟橋聖一集
壺井栄、佐多稲子集	染められた感情 丹羽文雄
娘の中の娘	源氏鶏太
男と女の子	吉行淳之介
蝶々夫人	藤美英治
丹羽文雄	〃
田中美知太郎	〃
〃	〃
〃	〃
〃